

大雨に関する記者会見

26日にかけての大雨と
台風第7号について

令和8年6月25日(木)

福岡管区気象台

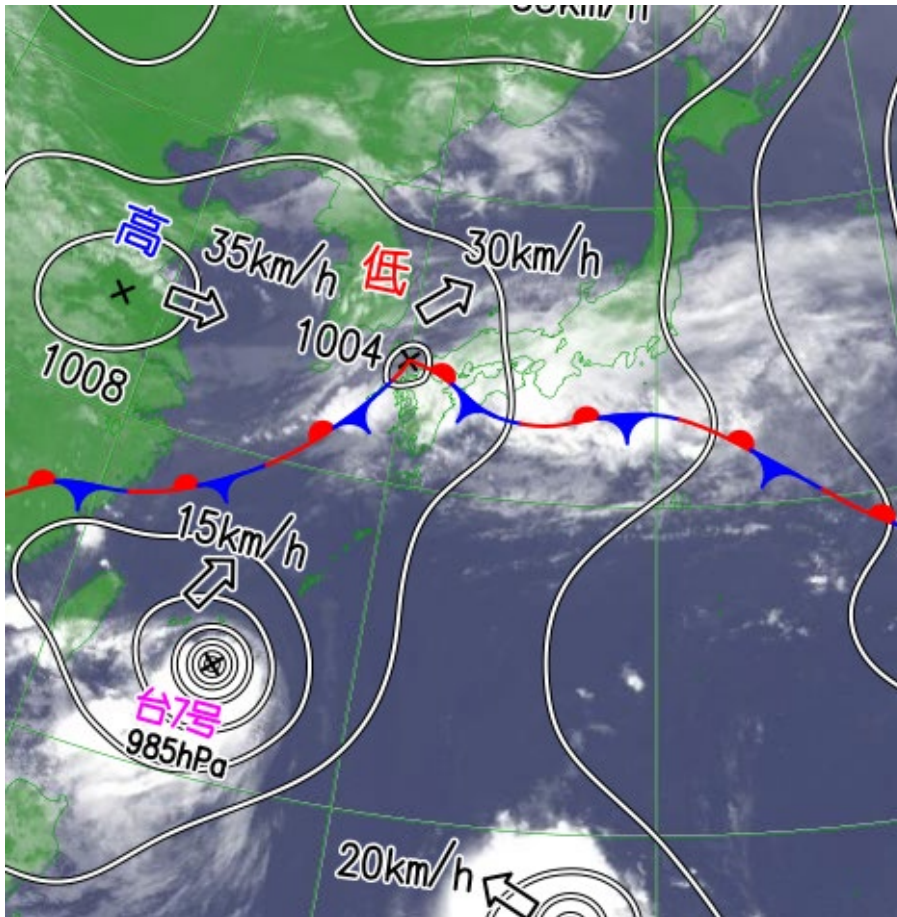
警戒事項

- 26日にかけて土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒
- 梅雨前線および台風第7号の影響で、九州・山口県では27日にかけて警報級の大雨のおそれ
- 台風第7号が接近する奄美地方では、26日は暴風に厳重に警戒、高波に警戒

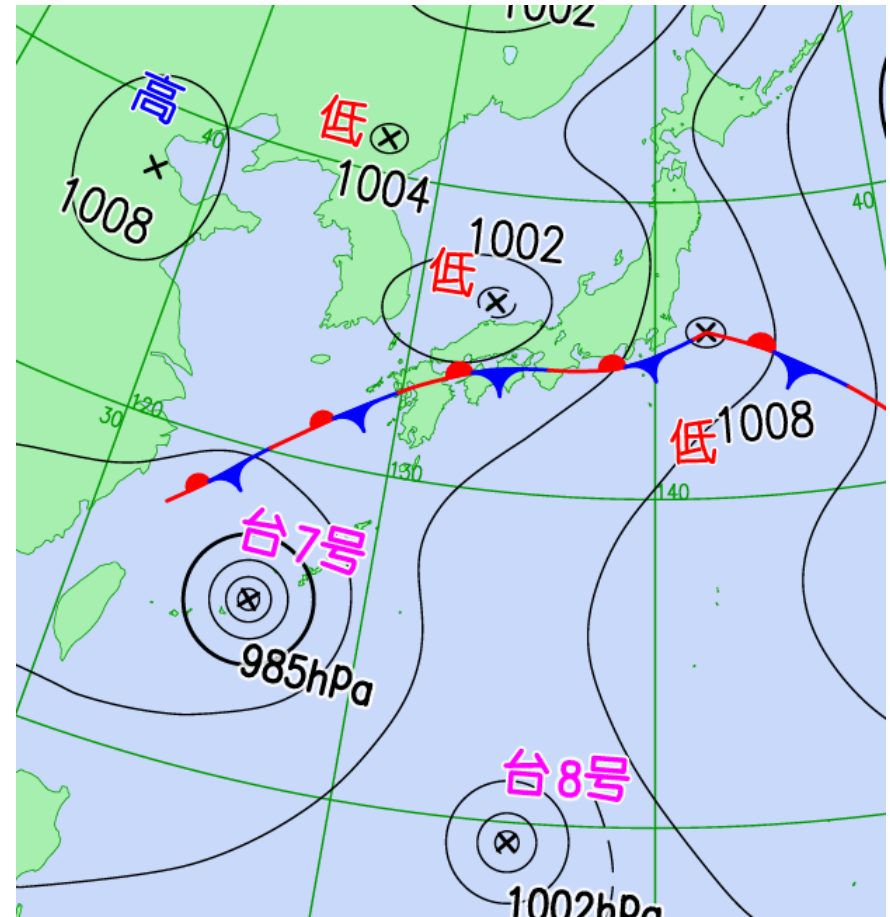
天気図

- 25日9時現在、梅雨前線は華中から九州北部地方を通過して日本の南へのびている。
- 台風第7号の北上に伴い、九州付近に停滞する梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、26日午前中にかけて梅雨前線の活動が再び活発となる見込み。

気象衛星画像と天気図(25日9時)



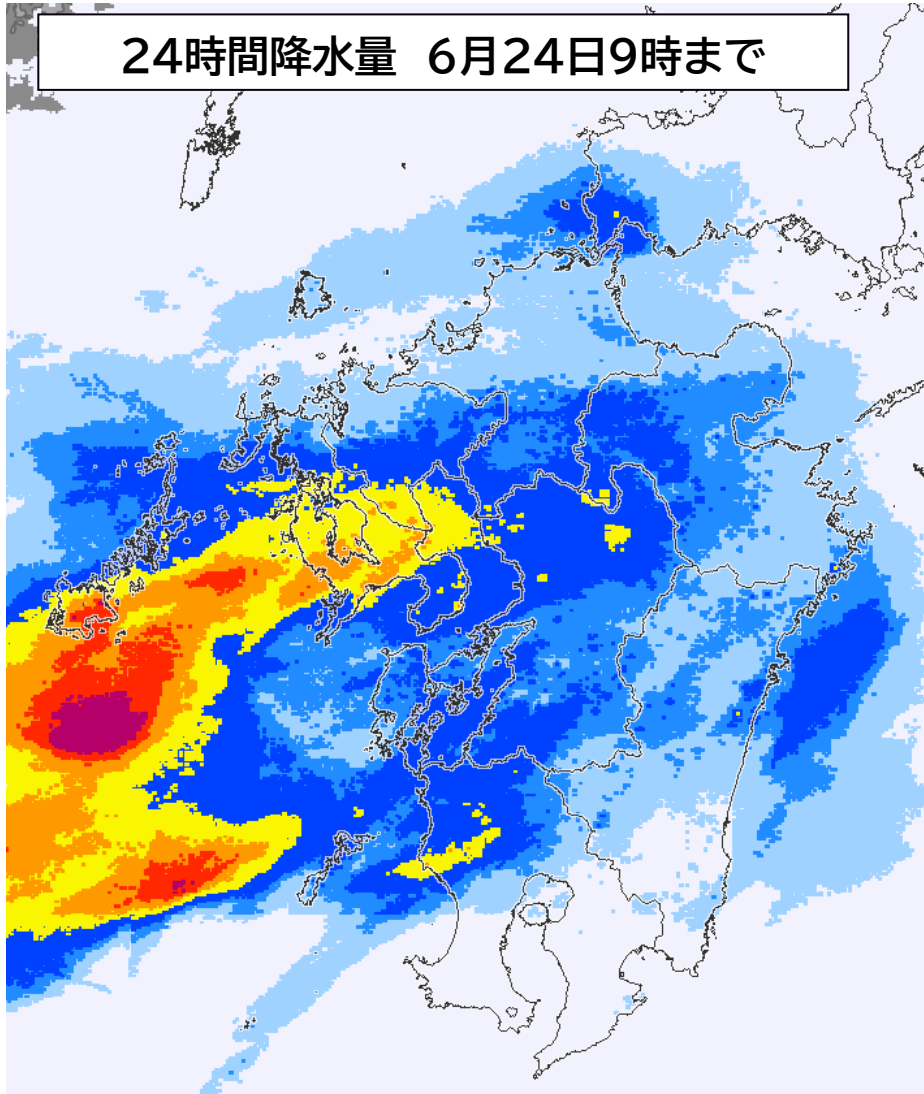
予想天気図(25日21時)



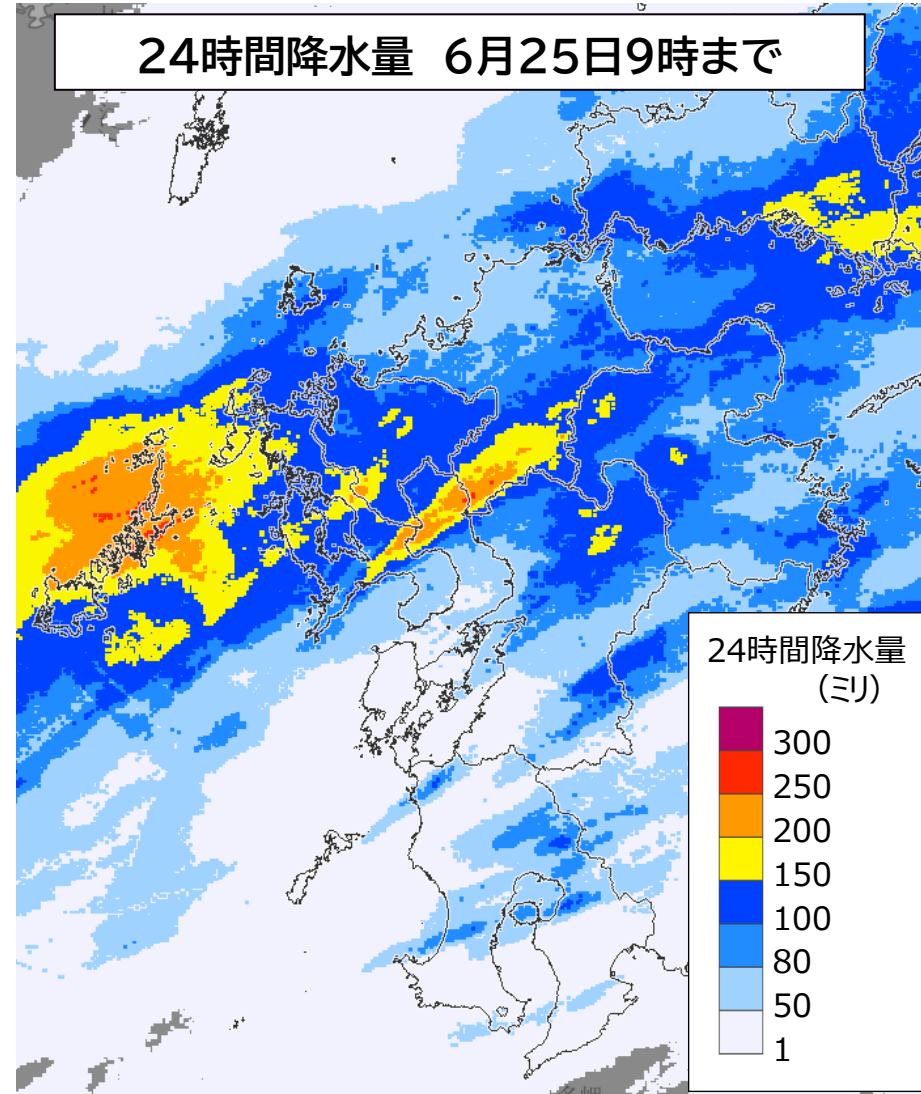
これまでの大雨の状況

九州・山口県では広い範囲で大雨となり、2日間で400ミリを超えた所もある

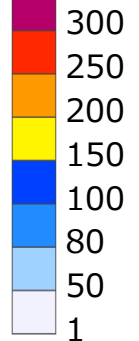
24時間降水量 6月24日9時まで



24時間降水量 6月25日9時まで



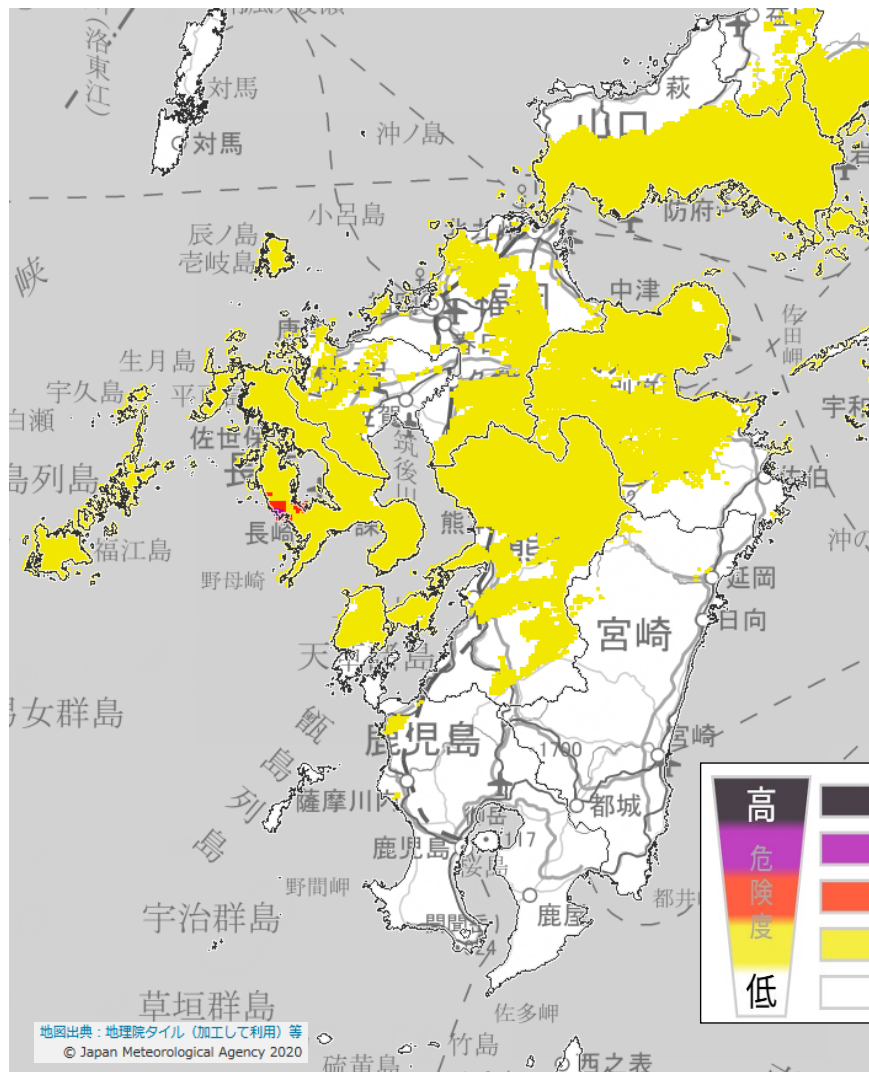
24時間降水量
(ミリ)



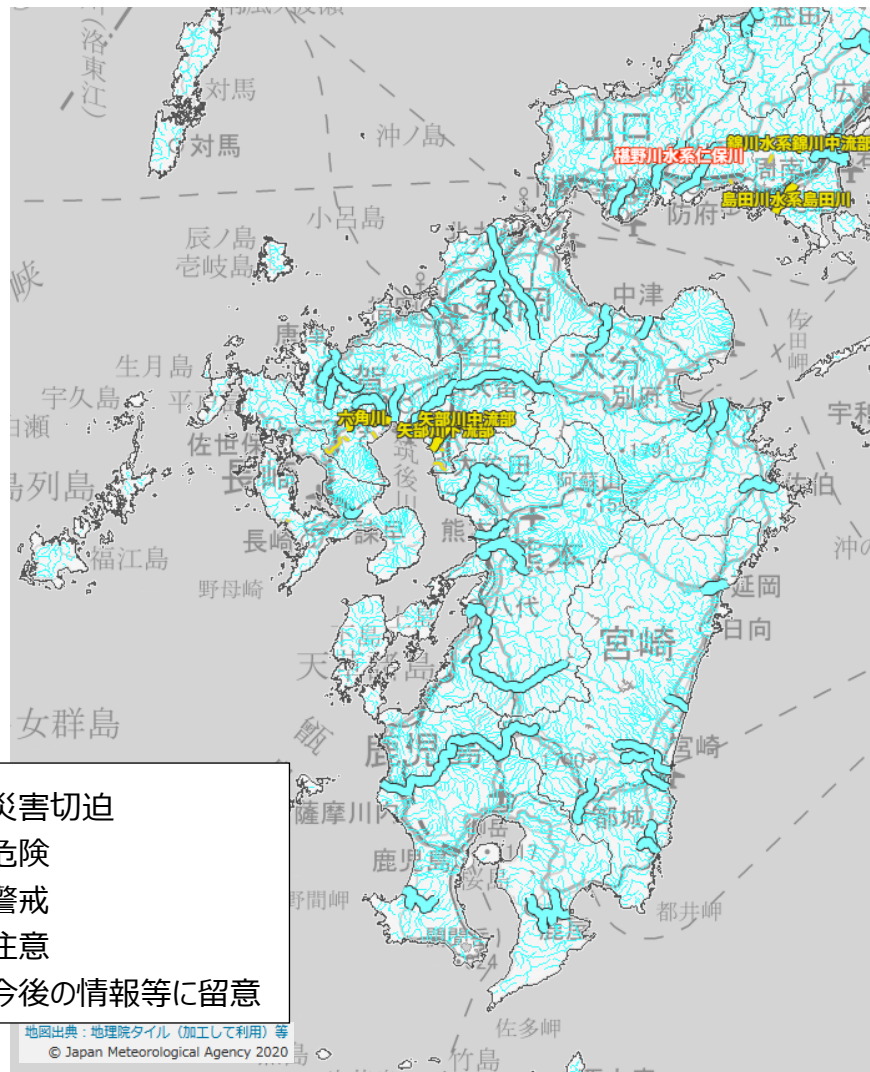
キキクル(災害発生危険度)

これまでの大雨で、災害発生危険度が高まっている

土砂キキクル(25日12時)

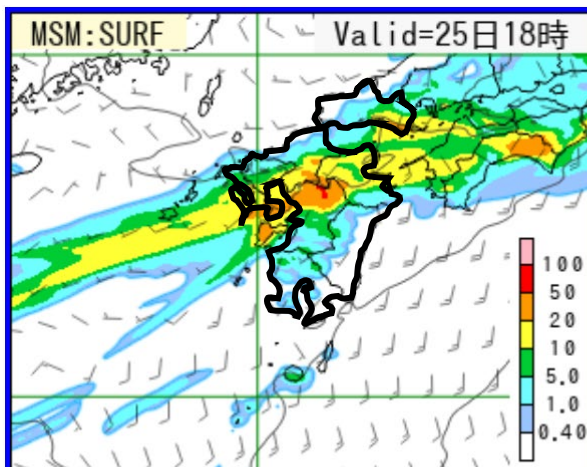


洪水キキクル(25日12時)

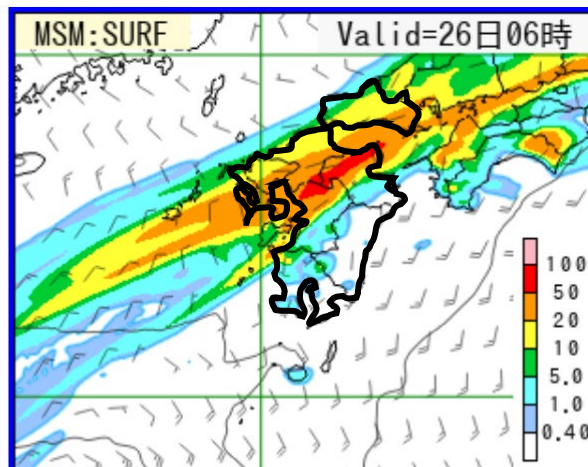


27日にかけての降水の予測

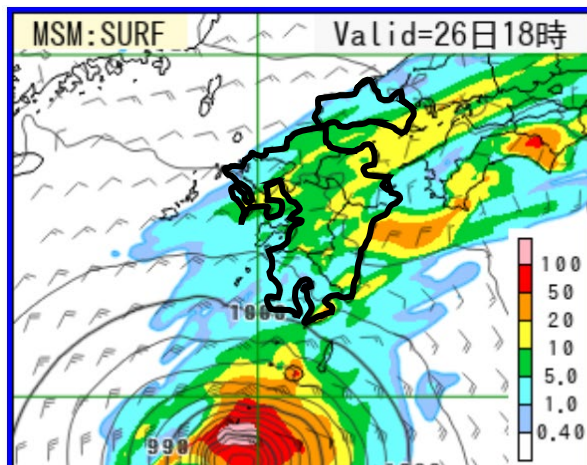
九州北部地方では、26日午前中にかけて梅雨前線の活発な雨雲が断続的にかかる。九州南部・奄美地方では、27日にかけて台風第7号の発達した雨雲がかかる。



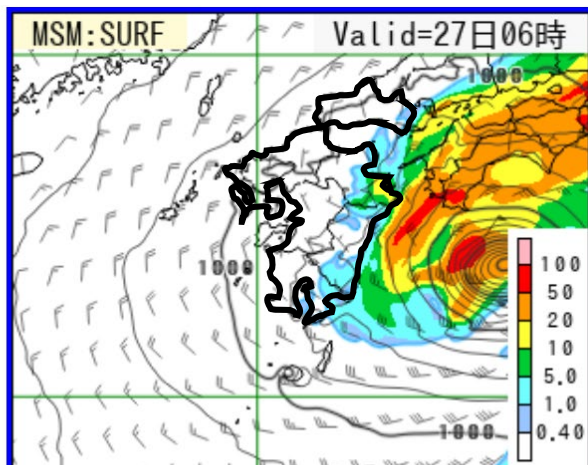
25日(木) 18時



26日(金) 06時

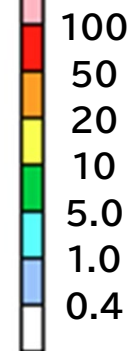


26日(金) 18時



27日(土) 06時

3時間降水量
[mm]



※数値予報の結果そのものですので、このとおりになるとは限りません。

雨の予想と早期注意情報

※1時間降水量は、26日まで1時間30ミリ以上のみ記載

25日11時現在

大雨 土砂災害		早期注意情報(警報級の可能性)・最大1時間降水量(ミリ)														24時間降水量(ミリ)		
		25日				26日								27日		28日	~26日12時	~27日12時
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-12	12-24			
山口県	大雨			30		30	40	40								120		
	土砂災害																	
福岡県	大雨	30				30	40	30								120		
	土砂災害																	
佐賀県	大雨					30	40	30								120		
	土砂災害																	
長崎県	大雨	30	30			50	50	40								200		
	土砂災害																	
大分県	大雨	40	40	40	40	50	50	50	30							200		
	土砂災害																	
熊本県	大雨	40	30	30	30	60	60	50	30							200		
	土砂災害																	
宮崎県	大雨	30	30							30	30	30	30			80	80	
	土砂災害																	
鹿児島県 奄美地方を除く	大雨	30	40			30	40	30			30	30	30			120	150	
	土砂災害																	
奄美地方	大雨							30	30	30	30	30	30			80	100	
	土砂災害																	

 : 警報級の可能性[中]

 : 警報級の可能性[高]

早期注意情報(暴風・波浪)

暴風	早期注意情報(警報級の可能性)・最大風速(m/s)									
	25日		26日				27日		28日	
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24		
山口県										
福岡県										
佐賀県										
長崎県							12			
大分県							15			
熊本県							15	15		
宮崎県						15	15	15		
鹿児島県 奄美地方を除く			12	12	13	16	20	23	23	
奄美地方		15	20	23	25	30	30	25	23	18

波浪	早期注意情報(警報級の可能性)・波高(m)									
	25日		26日				27日		28日	
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24		
山口県										
福岡県										
佐賀県										
長崎県										
大分県							3			
熊本県										
宮崎県							4	5		
鹿児島県 奄美地方を除く				4	5	5	5	5		
奄美地方	3	3	4	5	5	6	6	7	7	7



: 警報級の可能性[中]



: 警報級の可能性[高]

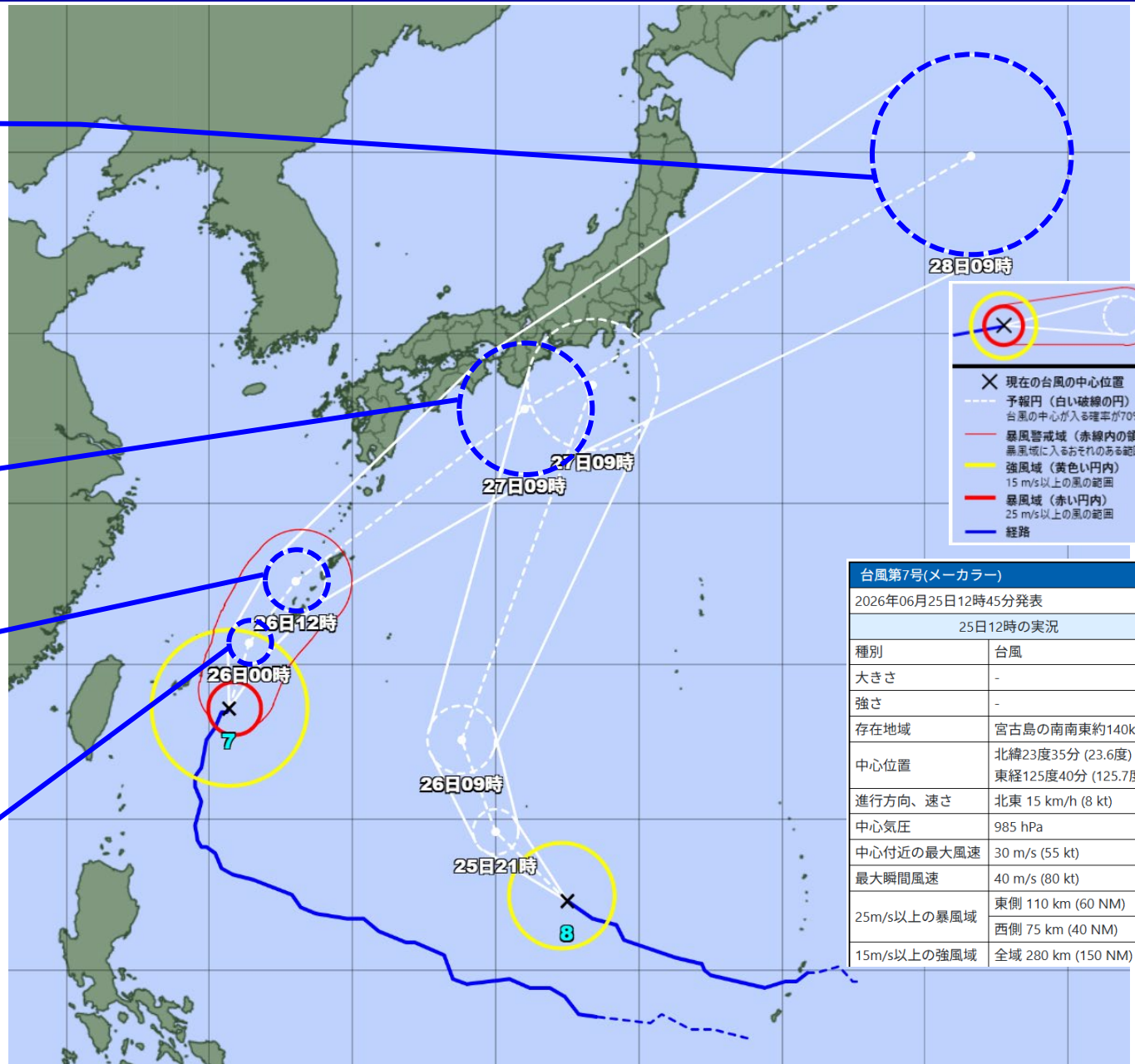
台風第7号の進路予報(25日12時現在)

28日9時の予想
990hPa 23m/s
温帯低気圧
東北東 65km/h

27日9時の予想
990hPa 25m/s
—
北東 45km/h

26日12時の予想
985hPa 30m/s
—
北東 20km/h

26日00時の予想
985hPa 30m/s
—
北北東 20km/h



- X 現在の台風の中心位置
- 予報円 (白い破線の円)
台風の中心が入る確率が70%
- 暴風警戒域 (赤線内の領域)
- 強風域 (黄色い円内)
15 m/s以上の風の範囲
- 暴風域 (赤い円内)
25 m/s以上の風の範囲
- 経路

台風第7号(メーカラー)	
2026年06月25日12時45分発表	
25日12時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	宮古島の南南東約140km
中心位置	北緯23度35分 (23.6度) 東経125度40分 (125.7度)
進行方向、速さ	北東 15 km/h (8 kt)
中心気圧	985 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (55 kt)
最大瞬間風速	40 m/s (80 kt)
25m/s以上の暴風域	東側 110 km (60 NM) 西側 75 km (40 NM)
15m/s以上の強風域	全域 280 km (150 NM)

警戒事項

- 26日にかけて土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒
- 梅雨前線および台風第7号の影響で、九州・山口県では27日にかけて警報級の大雨のおそれ
- 台風第7号が接近する奄美地方では、26日は暴風に厳重に警戒、高波に警戒

參考資料

参考資料：新しい防災気象情報

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

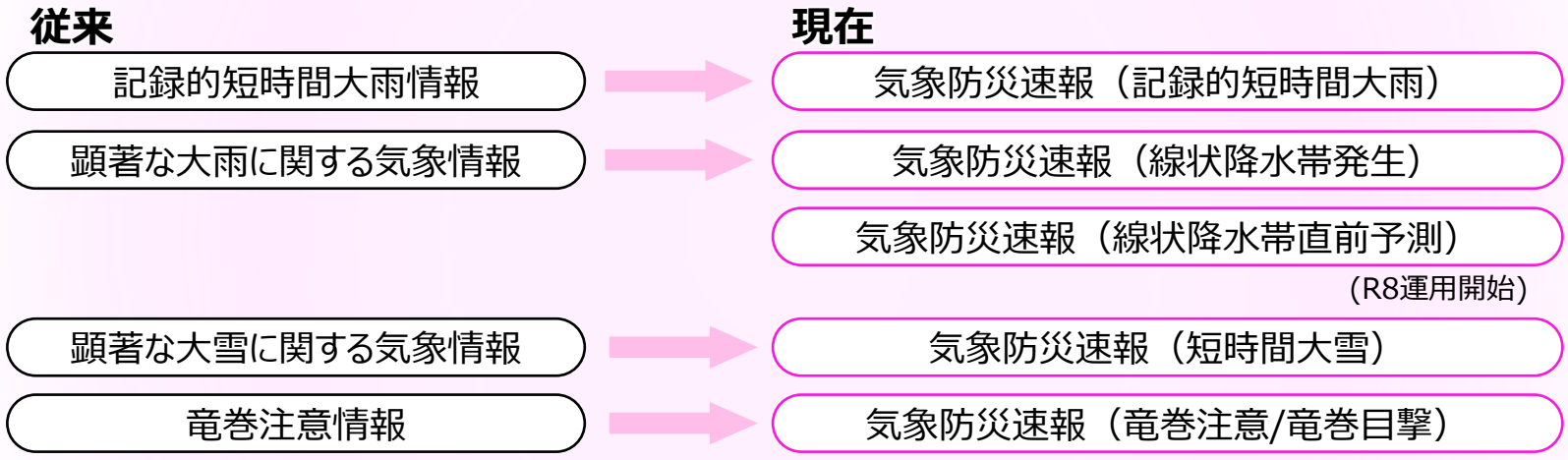
	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める



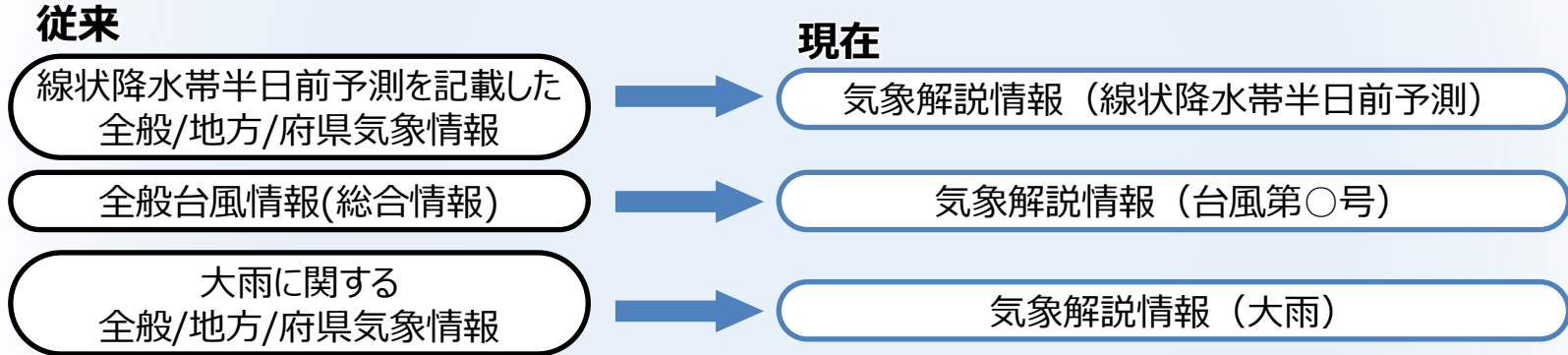
気象防災速報・気象解説情報

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など **顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を公表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に公表します。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)



気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)



時系列情報(25日11時発表)

長崎県南部

長崎県南部		25日				26日								27日	備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1時間最大雨量 (mm)		30	30	15	15	50	50	30	20	20	20	5	5		
24時間最大雨量 (mm)		200													
						150									
大雨															
土砂災害															
高潮	潮位 (m)	0.4	1.6	1.6	0.6	0.7	1.6	1.6	0.6	0.2	1.4	1.7	1.1		

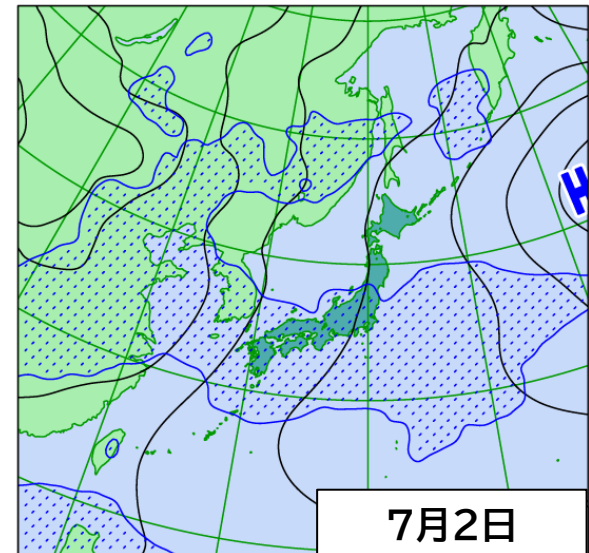
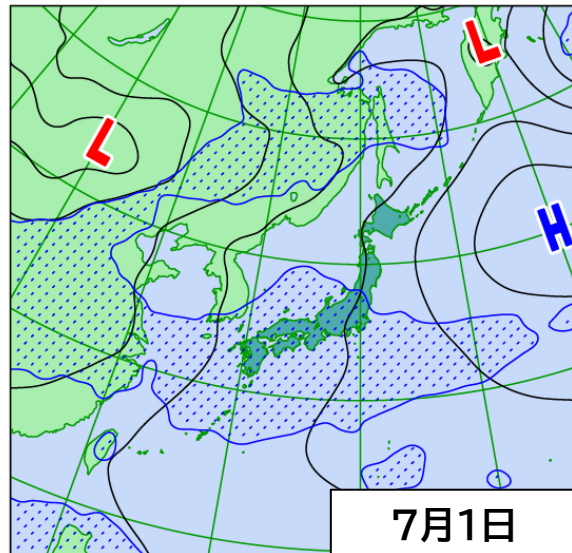
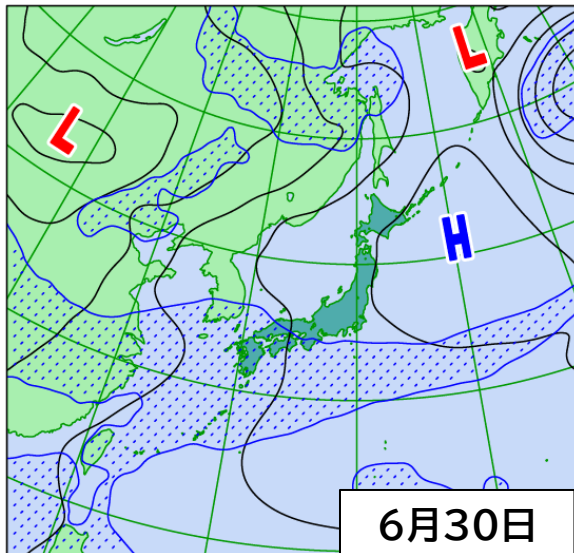
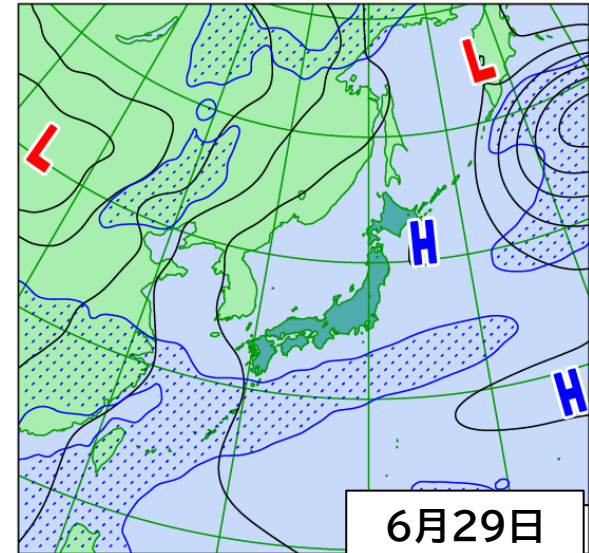
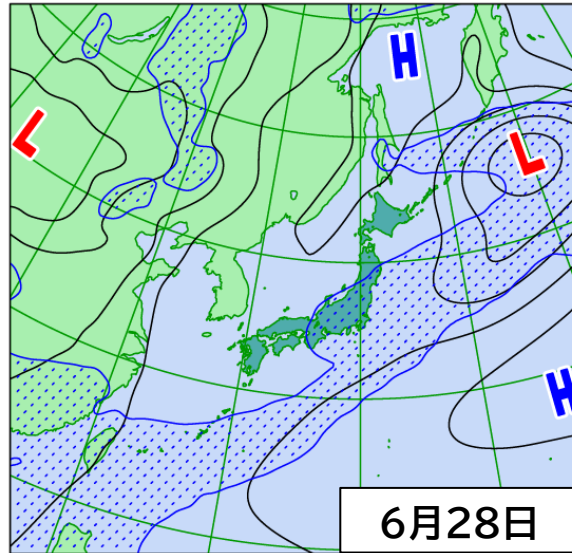
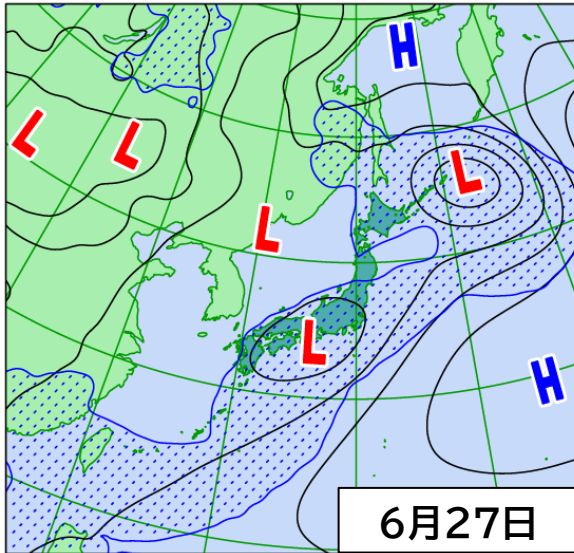
熊本県熊本地方


熊本県熊本地方		25日				26日								27日	備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1時間最大雨量 (mm)		40	30	30	30	60	60	50	30	15	15	10	5		
24時間最大雨量 (mm)		200													
						200									
大雨															
土砂災害															
高潮	潮位 (m)	0.4	1.4	1.4	0.5	0.7	1.5	1.5	0.2	-0.1	1.4	1.6	1.1		

大分県西部

大分県西部		25日				26日								27日	備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1時間最大雨量 (mm)		40	40	40	40	50	50	50	30	15	20	10	3		
24時間最大雨量 (mm)		200													
						180									
大雨															
土砂災害															

今後1週間の見通し



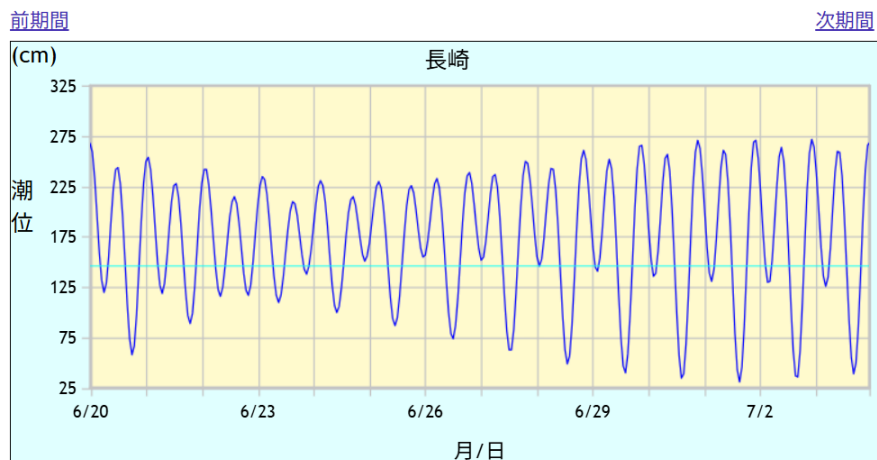
L : 低気圧、 H : 高気圧  : 降水が予想される範囲

各地の満潮時刻(九州北部地方)



	24日		25日	
萩	6:20	19:37	7:15	20:48
徳山	3:43	17:19	4:38	18:28
萩田	3:55	17:25	4:55	18:34
博多	4:58	18:24	5:52	19:32
大牟田	3:47	17:02	4:51	18:11
唐津	4:46	18:14	5:39	19:21
平戸	3:54	17:30	4:47	18:35
長崎	3:05	16:42	3:58	17:50
別府	3:19	17:12	4:08	18:22
佐伯	2:00	16:04	2:44	17:20
熊本	3:42	17:01	4:44	18:09
水俣	3:30	16:58	4:31	18:08
苓北	2:56	16:32	3:51	17:38

毎時潮位グラフ 長崎
2026年6月20日～2026年7月3日の潮位予測



大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石
流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうち
に急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉
市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して
氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が
決壊したりすると、広範囲が長時間浸水
するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾
濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、
浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、

キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！



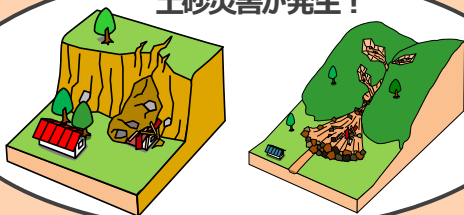
大雨がやんでも…

土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

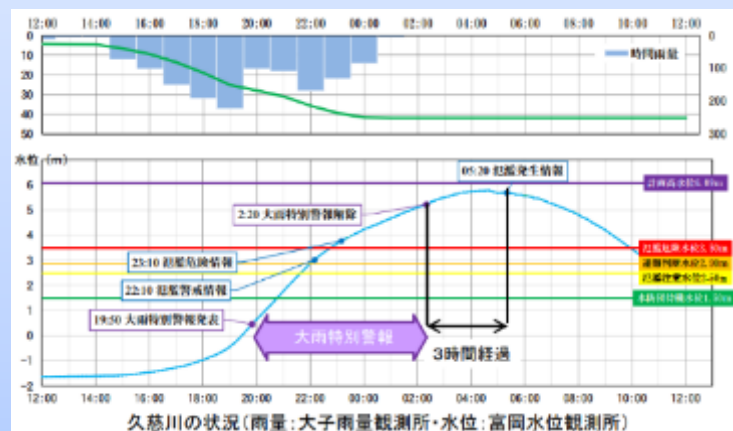


土砂災害が発生！



油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



大雨による災害への備え

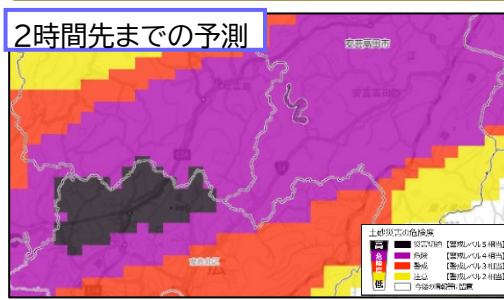
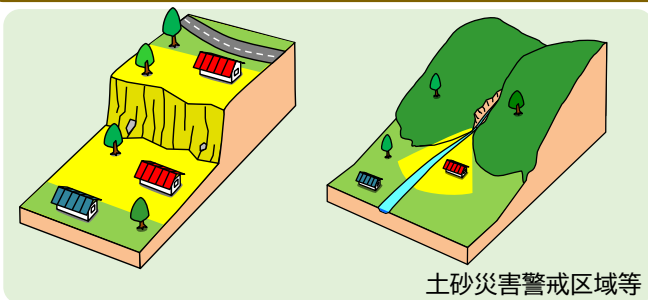
- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

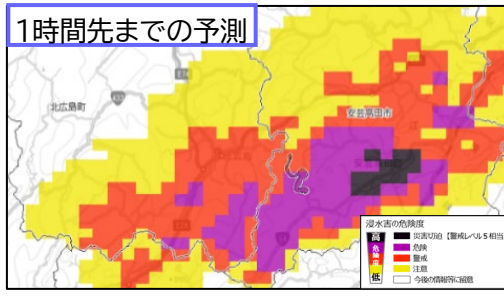
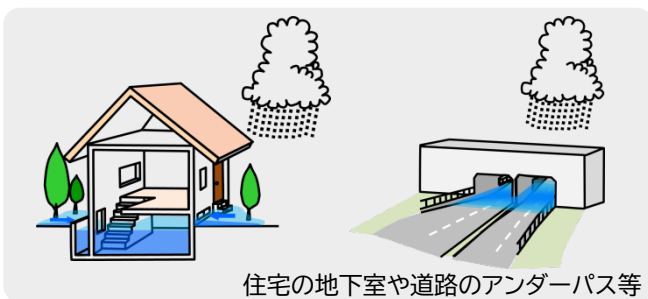
キキクル(危険度分布)

災害の例

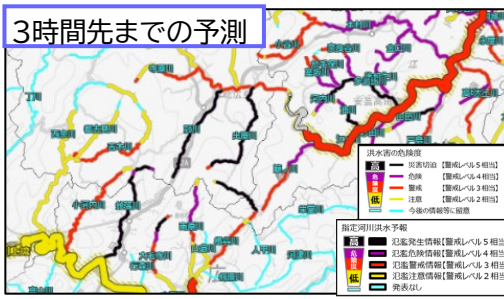
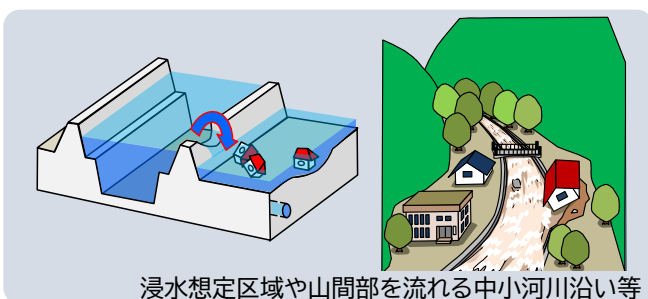
土砂災害



浸水害



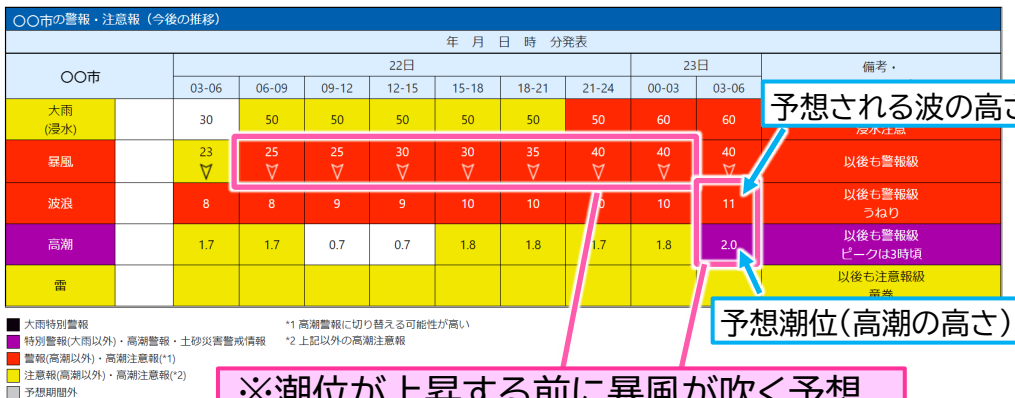
洪水災害



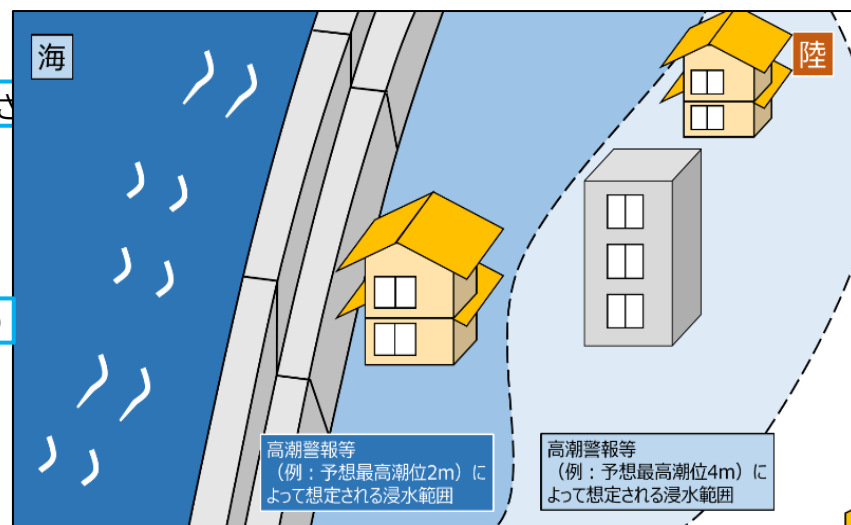
高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認



高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 災害発生のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

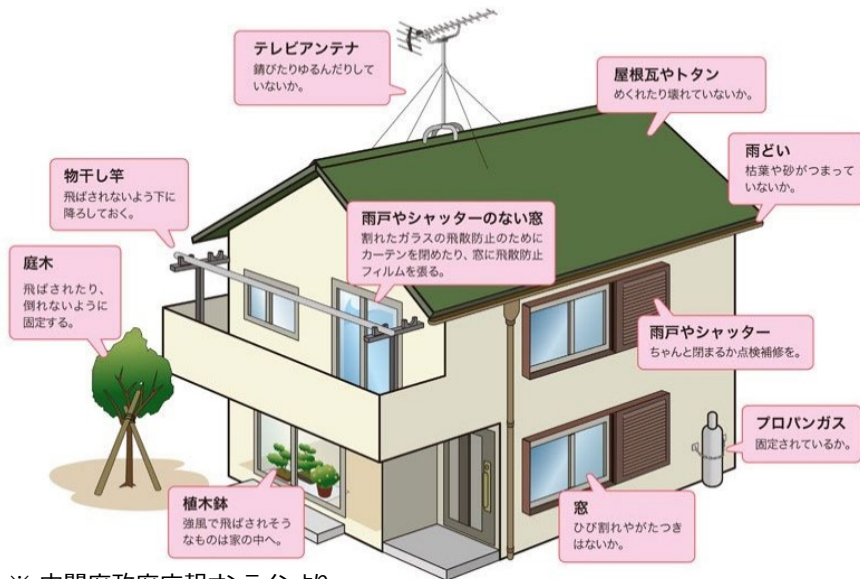
〇〇町の警報・注意報(今後の推移)

		〇〇年〇月〇日〇時〇分発表										備考・関連する現象
〇〇町		〇日					〇日					
		09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12		
暴風	陸上	8 △	12 △	15 △	20 △	20 △	20 △	20 △	15 △	12 △		
	海上	15 △	18 △	20 △	25 △	25 △	25 △	25 △	20 △	18 △	以後も注意報級	

暴風警報

陸上では夜のはじめ頃から風速20メートル

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが転倒する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html

台風の強さと大きさについて

○台風の大きさと強さ

台風の大きさ	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

台風の強さ	最大風速
強い	33m/s以上～44m/s未満
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

○雨や風、波に関する用語

1時間雨量	用語
10mm以上～20mm未満	やや強い雨
20mm以上～30mm未満	強い雨
30mm以上～50mm未満	激しい雨
50mm以上～80mm未満	非常に激しい雨
80mm以上～	猛烈な雨

最大風速	用語
10m/s以上～15m/s未満	やや強い風
15m/s以上～20m/s未満	強い風
20m/s以上～30m/s未満	非常に強い風
30m/s以上～	猛烈な風

波高	用語
4mを超え6mまで	しける
6mを超え9mまで	大しけ
9mを超える	猛烈にしける